**殺虫剤**

協友
# ダントツ®粒剤
クロチアニジン……0.5%

種類名／クロチアニジン粒剤
農林水産省登録／第21645号
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／1kg×12、3kg×6、10kg

## 特　長

- 浸透移行性に優れ、カメムシ目、ハエ目、コウチュウ目、チョウ目、アザミウマ目の各種害虫に高い防除効果を発揮します。
- 野菜や花きなどのアブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類等の吸汁性害虫に加えて、ハモグリバエ類に対して高い防除効果を示します。
- 定植時の植穴処理、または生育期の株元処理で高い防除効果を発揮し、その効果は長期間持続します。
- 有機リン系、カーバメイト系、合成ピレスロイド系薬剤に対する感受性が低下した害虫にも高い効果を示します。

## 適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 稲 | ウンカ類<br>ツマグロヨコバイ<br>ニカメイチュウ | 3kg/10a | 収穫7日前まで | 本剤　3回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［直播での種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回］ | 散布 |
| | カメムシ類 | 3～4kg/10a | | | |
| 稲（箱育苗） | イネミズゾウムシ<br>イネドロオイムシ<br>イネヒメハモグリバエ | 育苗箱［30×60×3cm、使用土壌約5ℓ］1箱当り50g | 移植3日前～移植当日 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回］ | 育苗箱の苗の上から均一に散布する |
| | | 高密度には種する場合は1kg/10a［育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g］ | | | |
| きゅうり | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>ミナミキイロアザミウマ | 1～2g/株 | 育苗期後半 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元処理 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | ミナミキイロアザミウマ | 2g/株 | | | |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 定植後<br>但し、収穫前日まで | 本剤　3回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元散布 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| メロン | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 育苗期後半 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元処理 |
| | コナジラミ類 | | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類 | | | | |
| | ミナミキイロアザミウマ<br>トマトハモグリバエ | 2g/株 | | | |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 定植後<br>但し、収穫前日まで | 本剤 3回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元散布 |
| すいか | アブラムシ類<br>ミナミキイロアザミウマ | 1～2g/株 | 定植時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［定植時の土壌混和は1回、散布は3回］ | 植穴処理<br>土壌混和 |
| かぼちゃ<br>にがうり | アブラムシ類 | | | | |
| うり類<br>（漬物用、但し、とうがん、食用へちまを除く） | | | | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 1回 | |
| とうがん<br>食用へちま | | | | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［定植時までの処理は1回、定植後の散布は3回］ | |
| トマト<br>ミニトマト | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 1g/株 | 育苗期 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元処理 |
| | アザミウマ類 | | 育苗期後半 | | |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>ハモグリバエ類<br>アザミウマ類 | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類 | | 定植後<br>但し、収穫前日まで | 本剤 3回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元散布 |
| なす | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 育苗期後半 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元処理 |
| | コナジラミ類 | 1g/株 | | | |
| | マメハモグリバエ<br>アブラムシ類<br>コナジラミ類 | | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 定植後<br>但し、収穫前日まで | 本剤 3回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回、散布及び定植後の株元散布は合計3回］ | 株元散布 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| ピーマン | アブラムシ類 | 1g/株 | 育苗期後半 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　3回<br>［定植時までの処理は1回、散布及び定植後の株元散布は合計2回］ | 株元処理 |
| | | | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | | 1～2g/株 | 定植後<br>但し、収穫前日まで | 本剤　2回<br>クロチアニジン剤　3回<br>［定植時までの処理は1回、散布及び定植後の株元散布は合計2回］ | 株元散布 |
| キャベツ | アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 0.25g/株 | は種時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　3回<br>［定植時までの処理は1回、定植後の散布は2回］ | 覆土後セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| | アブラムシ類<br>ネギアザミウマ | 3～6kg/10a | | | 播溝処理<br>土壌混和 |
| | | 6kg/10a | 地床育苗期 | | 株元散布 |
| | コナガ<br>アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ<br>ネギアザミウマ | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | 育苗期後半 | | セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| | コナガ<br>アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ<br>ネギアザミウマ<br>ネキリムシ類 | 0.5g/株 | | | 株元処理 |
| | コナガ<br>アオムシ | 2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 1～2g/株 | | | |
| はくさい | アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 0.25g/株 | は種時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　5回<br>［定植時までの処理は1回、定植後の散布は2回、定植後の株元散布は2回］ | 覆土後セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| | コナガ<br>アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ<br>ネキリムシ類 | 0.5g/株 | 育苗期後半 | | 株元処理 |
| | アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | コナガ<br>アオムシ | 2g/株 | | | |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| ブロッコリー | アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 0.25g/株 | は種時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［定植時までの処理は1回、定植後の散布は3回］ | セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの覆土に均一に混和する |
| | | | | | 覆土後セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| | コナガ<br>アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ | 0.5g/株 | 育苗期後半 | | 株元処理 |
| | コナガ<br>アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ<br>ネギアザミウマ | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | | | セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | コナガ<br>アオムシ<br>ハイマダラノメイガ | 2g/株 | | | |
| はなっこりー | アブラムシ類 | 6kg/10a | | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　3回<br>［定植時の土壌混和は1回、散布は2回］ | 作条処理<br>土壌混和 |
| だいこん | | 3～6kg/10a | は種時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　3回<br>［は種時の土壌混和は1回、は種後は2回］ | 播溝処理<br>土壌混和 |
| かぶ<br>こまつな | | 6kg/10a | | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［は種時の土壌混和は1回、散布は3回］ | |
| しゅんぎく | アブラムシ類<br>ハモグリバエ類 | | | | |
| ほうれんそう | アブラムシ類 | | | | |
| だいず | アブラムシ類<br>フタスジヒメハムシ | | | | |
| あずき<br>えだまめ | アブラムシ類 | | | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［は種時の処理は1回、は種後は3回］ | |
| みずな | | | | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［は種時の土壌混和は1回、散布は3回］ | |
| なばな | | 1～2g/株 | 定植時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　1回 | 植穴処理<br>土壌混和 |
| チンゲンサイ | | 6kg/10a | は種時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　4回<br>［は種時及び定植時の土壌混和は合計1回、散布は3回］ | 播溝処理<br>土壌混和 |
| | | | 定植時 | | 作条処理<br>土壌混和 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| レタス | アブラムシ類 | 2g/株 | 定植時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 5回<br>［定植時までの処理は1回、定植後の散布は2回、定植後の株元散布は2回］ | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | | 0.5g/株 | 育苗期後半 | | 株元処理 |
| | | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | | | セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する |
| 非結球レタス | | 0.5g/株 | | | 株元処理 |
| ねぎ | ネギアザミウマ<br>ネギハモグリバエ | 6kg/10a | は種時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［定植時までの処理は1回］ | 作条処理<br>土壌混和 |
| | ネギアザミウマ<br>ネギハモグリバエ<br>タネバエ | | 植付時 | | 植溝処理<br>土壌混和 |
| | ネギアザミウマ<br>ネギハモグリバエ | 3～6kg/10a | 収穫3日前まで | 本剤 4回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［定植時までの処理は1回］ | 株元散布 |
| | ネダニ類 | 6kg/10a | | | |
| あさつき<br>わけぎ | ネギアザミウマ<br>ネギハモグリバエ | 3～6kg/10a | | 本剤 4回<br>クロチアニジン剤 4回 | |
| らっきょう | ネギアザミウマ<br>ネダニ類 | 6kg/10a | 収穫21日前まで | 本剤 2回<br>クロチアニジン剤 2回 | |
| くわい | アブラムシ類 | | 収穫7日前まで | 本剤 3回<br>クロチアニジン剤 3回 | 湛水散布 |
| ばれいしょ | | 3～6kg/10a | 植付時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［植付時の土壌混和は1回、植付後は3回］ | 植溝処理<br>土壌混和 |
| かんしょ | コガネムシ類<br>トビイロヒョウタンゾウムシ | 6～9kg/10a | 植付前 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 3回<br>［植付前の処理は1回、植付後は2回］ | 作条処理<br>土壌混和 |
| | コガネムシ類 | | | | 全面処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類 | 6kg/10a | 育苗期 | | 株元処理 |
| やまのいも | コガネムシ類 | 6～9kg/10a | 植付時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［植付時までの処理は1回、植付後は3回］ | 作条処理<br>土壌混和 |
| いちご | アブラムシ類 | 1g/株 | 定植時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 1回 | 植穴処理<br>土壌混和 |
| セルリー | | 2g/株 | | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［定植時の土壌混和は1回、散布は3回］ | |
| れんこん | クワイクビレアブラムシ | 3kg/10a | 植付時 | 本剤 1回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［植付時までの処理は1回、植付後は3回］ | 植溝処理<br>土壌混和 |
| | | 4～6kg/10a | 収穫7日前まで | 本剤 3回<br>クロチアニジン剤 4回<br>［植付時までの処理は1回、植付後は3回］ | 湛水散布 |
| | | | | | 無人航空機散布 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| じゅんさい | トラフユスリカ | 4kg/10a | 収穫前日まで | 本剤　2回<br>クロチアニジン剤　2回 | 湛水散布 |
| さとうきび | ハリガネムシ類 | 4～6kg/10a | 植付時 | 本剤　1回<br>クロチアニジン剤　7回<br>［植付時までの処理は1回、植付後の粒剤の処理は3回、水和剤の処理は3回］ | 植溝処理<br>土壌混和 |
| | メイチュウ類<br>アオドウガネ | 6～9kg/10a | | | |
| | カンシャコバネナガカメムシ<br>シロスジオサゾウムシ | | 培土時 | 本剤　3回<br>クロチアニジン剤　7回<br>［植付時までの処理は1回、植付後の粒剤の処理は3回、水和剤の処理は3回］ | 株元処理<br>土壌混和 |
| | カンシャコバネナガカメムシ<br>カンシャワタアブラムシ<br>メイチュウ類 | | 収穫30日前まで | | 株元散布 |
| かんきつ（苗木） | ミカンハモグリガ | 10～20g/樹 | 育苗期 | 本剤　3回<br>クロチアニジン剤　3回 | |
| 樹木類（げっきつを除く） | コガネムシ類 | 6～9kg/10a | 生育期 | 本剤　5回<br>クロチアニジン剤　6回 | |
| げっきつ | ミカンキジラミ | 30～40g/株 | 発生初期 | 本剤　6回<br>クロチアニジン剤　6回 | 生育期<br>株元散布 |
| | コガネムシ類 | 6～9kg/10a | 生育期 | 本剤　5回<br>クロチアニジン剤　6回 | 株元散布 |
| きく | アブラムシ類 | 6kg/10a | 発生初期 | 本剤　4回<br>クロチアニジン剤　4回 | 生育期<br>株元散布 |
| | | 1～2g/株 | | | |
| | マメハモグリバエ<br>アザミウマ類 | 2g/株 | | | |
| 花き類・観葉植物（きくを除く） | アブラムシ類 | 6kg/10a | | | |
| | | 1～2g/株 | | | |
| | アザミウマ類 | 2g/株 | | | |

## 使用にあたって

**■使用上の注意**

- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 本剤を水稲の本田に使用する場合、3cm前後の湛水とし、田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤をくわい、れんこん、じゅんさいに使用する場合、田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 稲（箱育苗）に使用する場合は次の注意を守ってください。
  ①育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
  ②育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
  ③軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
  ④誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。

⑤本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに入水し、水深2～3cm程度を保ち浅水はさけてください。

●かんきつに使用する場合は、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後軽く散水してください。



●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

①ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。

②関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。

●適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

**■薬　害**

●キャベツ、はくさい、かぶ、こまつな、チンゲンサイに使用する場合は、薬害が生じるおそれがあるので使用量を厳守してください。

●キャベツ、はくさいのは種時に使用する場合は、薬害が生じる場合があるので覆土後に使用し、覆土前の使用はさけてください。

●薬剤を株単位で使用する場合には、10a当り25kgを超えないように適用の範囲内で単回使用量を調整してください。

**■蚕　毒**



●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

**■水産動植物への注意**

●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

●散布後は水管理に注意してください。

**■安全使用上の注意**

●街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**■貯蔵上の注意**

●密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年8月4日現在の登録内容に基づいています。